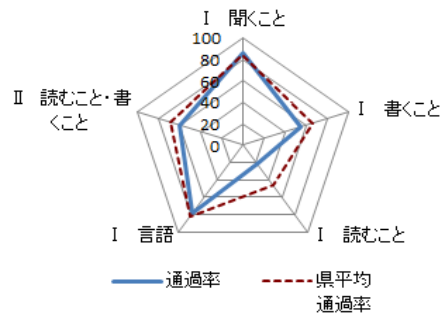


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校65.2%, 県 74.4%)

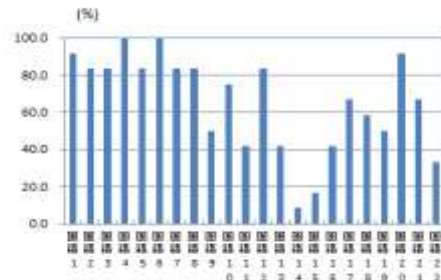
領域別平均通過率

領域別平均通過率(国語)

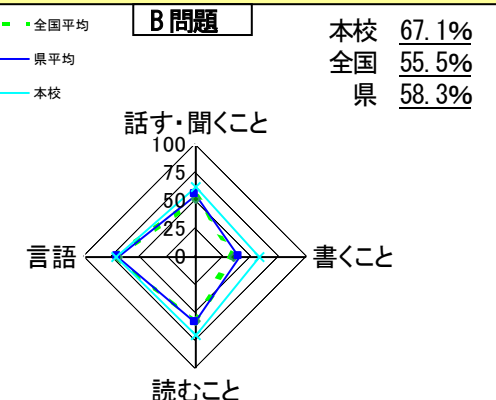
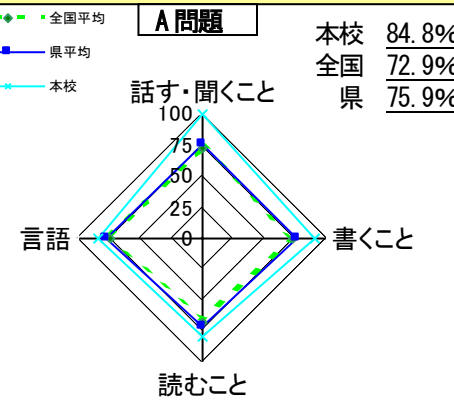


設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(国語)



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 資料を読んで、段落の相互関係、中心となる語や文を把握することをほとんどの児童ができていない。(通過率・段落相互の関係の把握 8.3%, 中心となる語や文の把握 16.7%)
- ◎ 想像したことや思ったことを具体的に書いたり、条件に沿って長い文章を書いたりすることが約30%の児童しかできていない。(通過率・理由を挙げた記述 33.3%)
- ◇ 質問の意図を捉え、適切なものを選択することができていない。(通過率・42.9%)
- ◇ 国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解することができていない。(通過率・71.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

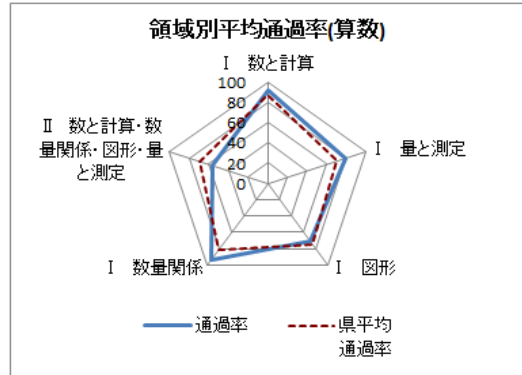
- ◎ 説明文や物語文などの問題に取り組み、段落相互の関係や中心となる語や文を把握して、読み取る力を育成する。また、説明文などの学習を通して、段落相互の関係をとらえ文章の構成を考えたり、書かれている内容を的確に捉え要旨をまとめたりする学習を継続的にしっかり教える。
- ◎ なぜそうなるのかの理由付けをして、自分の考えをわかりやすく話したり、書いたりする指導を継続的に行う。着眼点を手がかりにして読み取ったことをグループや全体で交流させる指導を実施する。
- ◇ 国語だけでなく学級会等で話し合う機会をもたせる。その際、互いの立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合い活動を進めることができるように支援を行う。
- ◇ 国語辞典を活用する機会を意図的に仕組んでいく。言葉の意味を考え、文脈をとらえることができるように短文作りを継続的に行う。
- ※ 小中一貫の取組の視点から、読み取る力を付けるために、家庭学習やHRの学習に、読み取り問題を意図的に取り入れる。また、新聞を視写し、内容を読み取りまとめる活動を行ったり、読書活動の推進を行ったりする。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4・5年生 小テスト			4・5年生 学期末テスト		4年生 26年度「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	80%			80%		75%	80%
実施後数値							
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 小テスト			6年生 学期末テスト		5年生 26年度「全国学力」	6年生 学年末テスト
目標値	80%			80%		70%	80%
実施後数値							

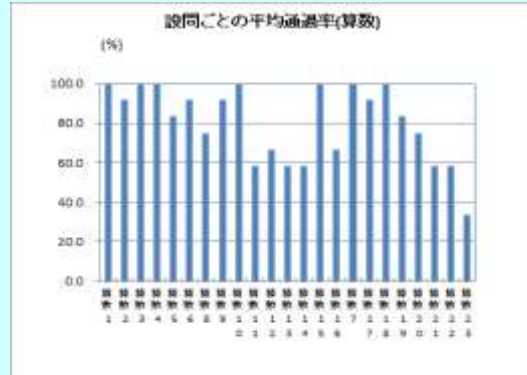
指導方法等の改善計画について [算数]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 80.1%, 県 78.0%)

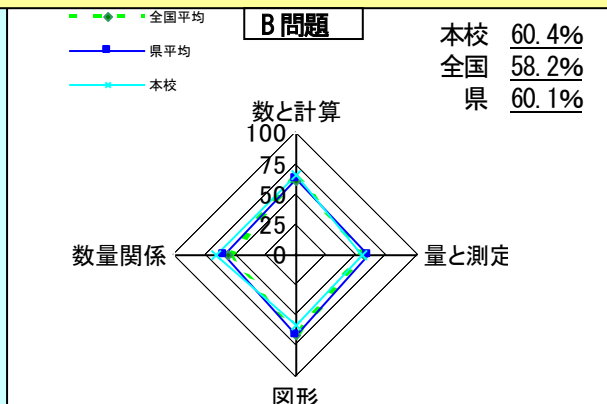
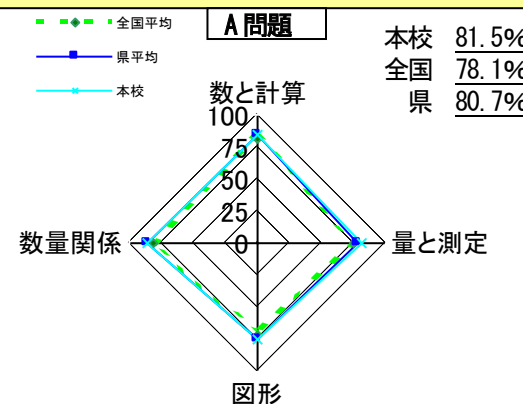
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 与えられた条件を基に筋道を立てて考えることができにくく、長方形の板にカードを敷き詰められない理由を言葉や式を用いて説明できなかった児童が66.7%いる。(通過率…自分の考えや解決方法を筋道立てて説明 33.3%)
- ◎ ひし形の約束や性質を理解しておらず、ひし形を判断することができないかった児童が41.7%いる。(通過率…ひし形の判断 58.3%)
- ◇ 情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できなかった児童が71.4%いる。
- ◇ 作図に用いられる図形の約束や性質を理解できていない児童が42.9%いる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎◇ 問題を解決していくためには、どの情報をどのように使えばよいかを考え、解決の過程を記述し、説明する学習活動を取り入れ、解決方法を式や言葉を用いて筋道立てて説明できるようにする。
- ◎◇ さまざまな図形を比較しながら弁別したり、作図したりする算数的活動を取り入れていくことで、図形の約束や性質を確実に理解させる。また、具体物を用いた活動を取り入れたりと、日常生活と結びつけたりして理解が深まるようにする。
- ※ 小中一貫の取組の視点から、具体的な事象について文字などを用いた式で表現する。また、式から具体的な事象を読み取ることをあらゆる領域で意図的に取り入れる。

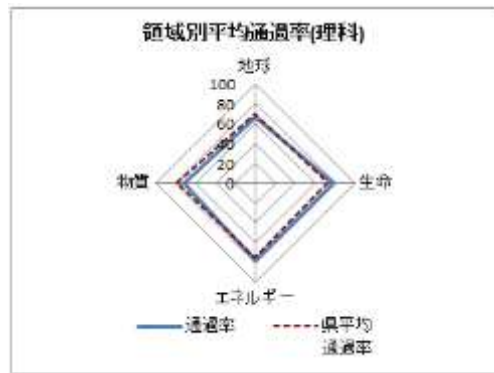
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			4・5年生 学期末テスト		4年生 26年度「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	85%			85%		80%	85%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 小テスト			6年生 学期末テスト		5年生 26年度「全国学力」	6年生 学年末テスト
目標値	80%			80%		75%	80%
実施後数値							

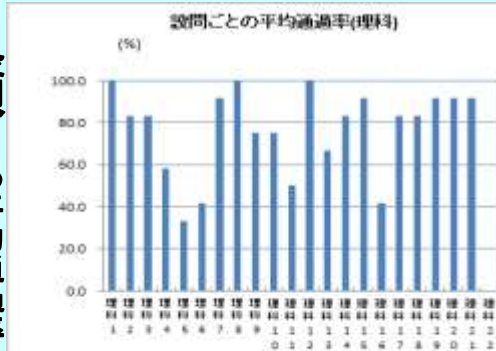
指導方法等の改善計画について〔理科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 73.5%, 県 70.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎① 方位磁針の正しい使い方を理解できていない。(通過率…方位磁針の正しい使い方 33.3%)
- ◎② 記述問題において、「何が」「なぜ」などの言葉を適切に使って論理的に説明できていない。(通過率…金属の温度変化と生活との関連 0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎① 理科学的な用語を積極的に使って学習を進め、実験・観察を通して用具の正しい扱い方に慣れさせ、基礎的な事象をしっかりと理解させる。
 - ◎② 観察・実験の結果の考察について、グループで判断の根拠を明らかにし、筋道立てて説明し、伝え合う学習活動を繰り返し取り入れる。
- ※ 小中一貫の取組の視点から、キーワードを使って説明することに慣れさせるために、授業の終わりにキーワードを使ってまとめを言わせたり、ノート書き方を工夫させたりする。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			5年生 26年度「基礎・基本」		4年生 26年度「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	80%			70%		75%	80%
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			5年生 26年度「基礎・基本」		4年生 26年度「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	75%			70%		75%	80%
実施後数値							